

1. 展望①国内情勢 (p. 1)

①UFJ・三菱統合の裏に学会・国際興業問題

合意していたUFJ信託銀行の、住友信託銀行への売却を白紙撤回してまで、UFJホールディングスは三菱東京ファイナンシャル・グループへの吸収合併を急いだ背景に、住友銀行と平和相互銀

行合併問題と同様の問題が潜む。学会資金と国際興業の後始末だ。

②新潟・福井の水害と気象兵器

新潟県中越地方を襲い、その後福井県や岐阜県にまで未曾有の

水

害をもたらした豪雨は、米アラスカのハープ気象研究所による旧

満

州、北朝鮮への気象兵器攻撃の一環だった、という見方が在日米

軍

関係者から出ている。背景に、阿片独占を目論む米軍とCIAの影が。

③国松長官狙撃事件をめぐる暗闘

北朝鮮工作機関につながるオウム真理教・統一教会・創価学会

ラ

インを熟知する北朝鮮は、よど号犯人帰国をちらつかせることで、

内

国松狙撃犯である平田信の帰国を示唆し、後藤田=旧内務省(宮

庁)が隠蔽してきたオウム事件の闇の回路を暴露する恫喝に出た。

2. 展望②プーチン、ブッシュ再選支持の背景

(p. 6)

「ロシア情報機関は、2002年初頭、イラク情報機関が米国領土内や在外公館、海外駐留の米軍基地に対してテロ攻撃を準備しているとの情報を入手し、それを米側に一度ならず提供した。(中略)イラク危機の起源を調査する場合、旧フセイン政権による米国への直接の脅威を含むあらゆる側面を考慮する必要がある。」ロシア通信社「インターファクス」が、ロシア情報機関筋の話としてこの驚くべき内容の記事を配信したのは6月17日のことだった。

そして、その翌日には、プーチン大統領がその事実関係を公式に認める発言をしている。この情報リークがプーチンの承認の下で行われたのは間違いないであろう。その政治的狙いはなんだったのか？

ケンブリッジ フォーキャスト グループ 〒133 江戸川区西小岩1-30-
5

TEL 03-3650-1475 FAX 03-3650-7873